

シャッター

片野晃司

つまりそういうことにしておこうかな) あっちこっちで閉じ忘れた括弧をあつめて閉じて
廻ってみたりして) 立派なカメラを持つてるくせに何もしないから) こちらからタイミングよ
く飛び込んでいかなくちやならない) 背景の紫陽花までもが泥を蹴立てて彩りよく飛び込
んでいかなきやならない) レンズをすり抜け、シャッターをすり抜け) 肌色みずみずしく紫
陽花と一緒に拘束されていなくちやならない) その間わずか千分の一秒である) 被写体
としてのわたくし界が襲いかかってくるような) つまりそういうことしておいて) こっちは
いいのにそっちはそんなで) ノートの切れ端に懸想文なんていまどき誰も書きもしないか
ら) 文字のほうから意味深に集まってはぴりぴり剥がれてあなたのまぶたのすきまへ飛び
込んでいかなくちやならない) 謝らなくていいよって言ってほしいのかな) もうどうでもい

が)五秒、四秒、傘に隠れたふりをして校舎が)三秒、二秒、全力で閉じようとする校門を
すり抜けようとして校舎が)踏みつけたらどうなるかな、踏みつけてみようかな)一、〇、ぐ
しゃつと音がして校舎が)起立して。もぐもぐして。ちゃんともぐもぐしなさい。もつとそこが
よく見えるように)だからそのあたりを撮っても校庭しか写らないのだった)最後にはのど
の奥からいわしの骨のひとつでも踊り出なきやならない)最後には歯のすきまからアスパ
ラの筋の一本でも這い出てこなくちやならない)なにごとそんな具合に)あっちこっちで
閉じ忘れた括弧をあつめて閉じて廻ってみたりして)結局のところそういうことにはしておこ
うかな。